

議会だより

福島県中島村議会



フェスタ開催を祝って餅まき

- ◇あらかし・一般会計補正予算 2
- ◇審議内容（特別会計補正予算など8議案） 3
- ◇一般質問（定住化促進の施策など1議員が登壇） 3～4
- ◇委員会報告（議会運営委員会等の開催） 4～5
- ◇議会傍聴・請願陳情 5～6
- ◇議会のうごき・編集後記 6

第2回 議会定例会



一般会計補正予算歳入・歳出の主な内容

4,816万9千円を追加し
総額31億8,531万8千円に

歳入	
地方交付税	
○震災復興特別交付税	△3,721万円
県支出金	
○平成25年度大雪農業災害特別対策事業補助金	4,669万円
繰入金	
○財政調整基金取崩	3,914万円
歳出	
総務費	
○社会保障・税番号制度システム改修費用	513万円
農林水産業費	
○被災農業者向け経営体育成支援事業補助金	5,941万円
土木費	
○狭あい道路測量調査設計委託料	1,568万円

平成26年第2回議会定例会は、6月6日から10日までの5日の日程で開催されました。

今定例会では、村長から、報告事項2件が報告され、条例改正案2件、規約の変更案1件、一般会計及び特別会計補正予算案5件の合計8議案が提出され、慎重に審議した結果、全議案原案のとおり可決されました。

一般質問には、1名の議員が登壇し、村の人口増施策、特別養護老人ホームに対する村の対応、完全米飯給食の考えなどを質しました。

26年度補正予算

◆今回提出された特別会計補正予算

◇国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

既定予算額から180万7千円を減額し、総額5億9628万7千円と定められました。

職員の異動に伴う人件費の補正。

審議結果 原案可決

◇簡易水道特別会計補正予算(第1号)

既定予算額に7千円を追加し、総額1億4813万9千円と定められました。

職員の異動に伴う人件費の補正。

審議結果 原案可決

◇農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)

既定予算額から568万2千円を減額し、総額2億5071万5千円と定められました。

職員の異動に伴う人件費の補正。

審議結果 原案可決

◇介護保険特別会計補正予算
(第1号)

既定予算額に1万4千円を追加し、総額3億4299万8千円と定められました。
職員の異動に伴う人件費の補正

審議結果 原案可決

審議内容

◆議決された条例

◇中島村条例の一部改正

地方税法の一部を改正する法律の施行に伴う改正。

審議結果 原案可決

◇中島村民健康保険条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、限度額等を改正。

審議結果 原案可決

◇白河地方広域市町村圏整備
組合規約の変更

組合規約の変更に伴い、構成市町村議会の議決を求めらるもの。

審議結果 原案可決

村長報告

○平成25年度中島村繰越明許費繰越計算書の報告について

繰越明許費とは
歳出予算の経費のうち、年度内に支出を終わらない見込みのあるものについて、あらかじめ議会の議決を経なければ翌年度に繰り越して使用できるもの。

○平成25事業年度白河地方土地開発公社の報告について



行政報告

平成26年第2回議会定例会にあたり、村長より行政の執行状況についての報告がありました。

風評被害防止と放射性セシウムの吸収抑制対策として、今年で3年目を迎えた稲作農家に対するカリ肥料の配布事業については、本年も目的達成が期待されることである。また、除染関係では、5月末に滑津、松崎地区の住宅除染業務を発注した。仮置場造成工事については、一日も早い完了をめざす。
社会資本整備総合交付金事業等についても、順調に事業が進められている。
行事においては、4月19日に「さわやか中島杯ソフトボール大会」が本村改善センターグラウンドで開催され、あやめスポーツ少年団が見事優勝を成し遂げた。

一般質問

定住化促進と人口増の施策は
特別養護老人ホームの入所者助成は
完全米飯給食実施の計画は



鈴木 新平 議員

定住化促進と人口増の施策は

人口増の施策は

◆議員

以前、本村は年少人口率が県下第一位の時もあったが、現在は第四位である。村

の発展は、基本的には人口が増えることだと思う。更なるニュータウン造成について、村長の所信を伺う。

◎村長

本村も今後、出生率の低下と高齢化率の上昇が進行すると予想されます。

子育て世代が安心して子供を産み育てられる環境づくりや雇用創出のため、企業誘致を推進していきます。

来年4月には、新規企業2社が操業開始を予定、既存企業2社で規模拡大を予定しており、更なる雇用の場が期待されます。これにより、若干でも人口減少に歯止めがかかることを期待しています。

また、村の分譲地も残り一区画となっており、新たに分譲地を造成し、定住促進を図っていききたい。

◆議員

人口増を図るということは結婚問題もあると思う。晩婚化が進む現在、男女の出会いの場をもっと多くつくってあげることが必要だと思う。



建設が進む特老施設

◎村長

出合いの場の創出は、現在広域圏で予算を確保し、年2回行っており、その中でカップルが誕生した実績もあります。今後も積極的に進めていきたいと考えています。

特別養護老人ホームへの 入所助成はあるか

◆議員

本村にも特別養護老人ホームが9月に開設される予定であり、現在、村在住者では8人の方が入所を希望しているようである。村として、入所される方へ見舞金等の助成を考えているか伺う。

◎村長

現在元村地内に建設中の特別養護老人ホームは、名称を「ひかりの里」として、9月1日開所予定と聞いています。この施設は、65歳以上で、常時介護が必要な寝たきりの方や認知症などの要介護者が対象となる施設です。

現在、村内在住者でも、諸事情により、村外施設へ入所されている方もおり、公平性の観点から、開所後、この施設を利用される方への助成等は考えていません。

施設利用については、介護保険制度によりその区分や段階により、サービス費が給付されます。

完全米飯給食実施の 計画はあるか

◆議員

子供たちの将来の食習慣、健康にも大きな影響を与える学校給食において、和食文化を次世代につなぐためにも、完全米飯給食の考えがあるか伺う。



米飯給食の一例

◎教育長

文科省は、日本の食生活の根幹であることや地域の食文化を通じた郷土への関心を深めることから、平成21年度に米飯給食の目標回数を、これまでの週3回程度から3回以上に引き上げました。

これを受け、村では週4回程度を中島村産の米を使用した米飯給食とし、残りをパンや麺類の給食を実施しています。

他県において、完全米飯給食を実施している学校もありますが、そこでは逆に、週1回はパンや麺類の給食にしてほしい等の要望があると聞いていますし、本村においても、週に1回のパンや麺類の給食

を楽しみにしているという声も寄せられています。

このようなことから、完全米飯給食の実施につきまして、先進地の取組状況や保護者・児童生徒の意識調査をするなどして検討していきたい。

委員会報告

議会運営委員会

委員長 円谷哲雄
委員 木村秋夫

藤田利春
折笠三吉



議会運営委員会は、5月29日に委員会を開催し、第2回議会定例会の運営について協議しました。

・提出議案について

総務課長より6月議会定例会に提出予定案件の概要について説明を受け、今議会で審議することとしました。

・一般質問について

今回は、1名の議員より質問の通告があり、協議の結果通告どおり質問を許可すべきとしました。

・請願陳情について

今定例会には、「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願」があり、総務教育常任委員会に付託としました。

・会期及び日程について

会期は、6月6日より10日までの5日間としました。



総務教育常任委員会

委員長 水野谷博
 委員 木村秋夫
 〃 折笠三吉
 〃 水野谷薫

総務教育常任委員会は、請願1件について付託を受け、6月6日に委員会を開催し、その内容について審査しました。

◇請願第1号「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書」について

手話とは、日本語を音声ではなく、手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙（使える言葉の総量）や文法体系をもつ言語であり、ろう者にとって、大切なコミュニケーションの手段である。

また、国連条約や国内法にも「手話は言語である」とことが明記されている。

このようなことから、手話の環境整備に向けた法整備を国に要望することについて、意見書をもって働き

かけることは、願意妥当との意見の一致を見、「採択」すべきものと決しました。

特別委員会

委員長 藤田利春
 委員 木村秋夫
 〃 小室辰雄
 〃 円谷哲雄
 〃 水野谷博
 〃 折笠三吉
 〃 鈴木新平



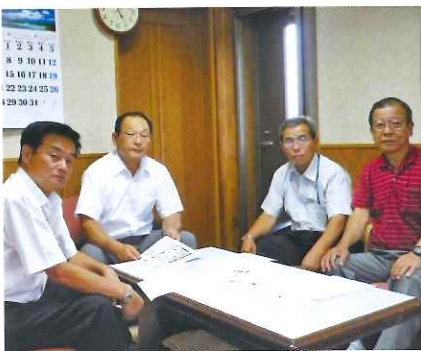
震災及び原発事故調査特別委員会は、6月6日に委員会を開催しました。

除染による放射性廃棄物仮置場設置に関する進捗状況の調査について、担当課である生活支援対策室長の説明を求め、工事の進捗状況と今後の予定等について説明を受け早期完成を要望しました。

議会広報編集委員会

委員長 小室辰雄
 委員 水野谷博
 〃 木村秋夫
 〃 鈴木新平

議会広報編集委員会は7月31日に委員会を開催し、議会だより8月号の編集業務を行いました。



◇交通安全・防犯パレード
 5月29日滑津小学校児童による交通安全・防犯パレードが実施されました。

当日は、滑津小学校から輝ら里までの予定で、鼓笛パレードを行い、村交通安全団体や防犯協会関係者とともに、村議会議員も参加し交通安全と防犯の強化を呼びかけました。

なお、パレード中、雷が発生したため、児童の安全を考慮し、残念ながら途中で中止となりました。

請願・陳情

6月議会定例会に提出された請願・陳情は次のとおり処理されました。

◇請願第1号 「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書」

・陳情者 福島県聴覚障害者

協会

会長 吉田正勝

ほか2名

審議結果 採択
 ・意見書を次の機関へ送付
 内閣総理大臣

藤田利春議員 自治功労者 表彰受賞

藤田利春議員はこのほど、議会議員として長年にわたり地方自治の振興と発展に貢献した功績が認められ、西白河町村議会議長会会長より、自治功労者として表彰されました。



行政視察研修

6月23日から26日まで、本
村議会議員はマレーシア国コ
タキナバルを視察研修して参
りました。

これは、8月に実施された
中学生海外派遣事業に先立ち、
その訪問先のイナナムセカン
ダリースクールやサピ島等を

事前に視察したものです。

現地では、学校長や生徒達
と意見交換をしたり、施設内
を見学し、帰国後は、参加さ
れる中学生にその内容等を説
明いたしました。



日本語を学ぶマレーシアの子どもたち



現地の人達と一緒に

編集後記

今年、エルニーニョの影響で、冷夏との予報もありましたが、その後、平年の気象になるのではと気象庁は発表しています。

先日の台風8号の被害等については、当地方に災害が無かったので安堵しています。

最近の気象は、急な大雨や強風により被害が多発しています。これからは、台風シーズンにもなりますので、予報には充分注意していきたいものです。

さて、8月5日からは中学生の希望者23名による海外派遣研修事業が実施されますが、それに先立ち我々もマレーシアに視察に行つて参りました。今まで本村でも国際交流という事で、オーストラリアと交流していましたが、一時中断していました。かわい子には旅をさせよということわざもありますが、現地を視察体験するのが一番です。

マレーシアは現在、発展途上ですが、日本とも交流があり、治安も安定しています。これからも長く国際交流が続くことを願っています。

広報編集委員 鈴木新平

月 日	事 項
5月 2日	・白河地方広域市町村圏整備組合議会臨時会(白河市)
15日	・町村議会広報研修会(郡山市)
16日	・村商工会通常総会
17日	・春季運動会(滑津、吉子川小)
19日	・村老人クラブ連合会総会
27~28日	・全国町村議長、副議長研修会(東京都)
29日	・議会運営委員会 ・交通安全防犯パレード(滑津小)
6月 3日	・県町村議会議長会定期総会(福島市)
6~10日	・第2回定例議会
6日	・震災及び原発事故調査特別委員会 ・総務教育常任委員会
8日	・第64回地方植樹祭(塙町)
22日	・県消防協会白河支部幹部大会(白河市)
23~26日	・議員行政視察(マレーシア国コタキナバル)
7月 8日	・マレーシア国派遣団員(中学生)との意見交換会
16日	・東西白河地方議会議員研修会(矢吹町)
27日	・いきいきフェスタINなかじま2014 ・県消防操法白河支部大会(白河市)
31日	・議会広報編集委員会